

北海道大学交流デー（慶南科学技術大学校）を開催



シンポジウム参加者集合写真*



慶南科学技術大学校・金総長への表敬訪問

本学では、共同教育・研究及び学生交流を更に促進するため、慶南科学技術大学校において、8月29日（水）に慶南科学技術大学校金南京総長への表敬訪問を、8月30日（木）に北海道大学交流デーを行いました。

慶南科学技術大学校と本学は2017年7月に金総長が本学を訪問され、また2018年1月に農学院・農学研究院・農学部、国際食資源学院との間で部局間交流協定を締結するなど交流を重ねてきています。

8月29日（水）の金総長への表敬訪問では、今後の両大学の交流に関する懇談を行い、その後、金総長にキャンパスをご案内いただきました。博物館では、金総長から、本学の卒業生（東北帝国大学農科大学1916年卒）である今村忠夫氏について、慶南科学技術大

学校の前身にあたる晋州公立農業学校の校長を20年間務め、熱心な教育を行ったことなど本学との歴史的なつながりをお話いただきました。

8月30日（木）の大学交流デーでは、「グローバル課題解決のための人材育成と大学の役割」をテーマにジョイントシンポジウムを開催し、慶南科学技術大学校から金総長をはじめ教職員及び学生約60人が出席し、本学からは、井上京国際食資源学院長、小林幸徳工学院長をはじめ8人の教職員及び学生が出席しました。

ジョイントシンポジウムは、金総長の挨拶からはじまり、続いて、本学の井上国際食資源学院長の挨拶の後、慶南科学技術大学校からはCho Young-Son教授及びLee Dong Kyu韓国南東発電会社シニアマネージャーが、本学

からは井上国際食資源学院長、小林工学院長、平野高司農学研究院教授、曾根輝雄農学研究院教授が講演を行いました。引き続き、ポスターセッションが行われ、慶南科学技術大学校からは30名、本学からは工学院の2名の学生がポスター発表を行い、参加者と議論が盛り上がる場面も見られ、非常に実りある交流デーとなりました。

今後も国際連携機構では、韓国における教育・研究機関等との連携拡大、教員や学生の相互交流の促進、卒業生ネットワークの構築を行い、幅広い面での交流を強化していきます。

* 慶南科学技術大学校ウェブサイトから転載

（国際部国際連携課）



金総長挨拶



井上国際食資源学院長挨拶